

Identifying Research Informed Principles of Practice

心理臨床における研究と実践の歩み寄り

Larry E. Beutler, Ph.D.

Director, National Center for the Psychology of Terrorism
William McInnes Distinguished Professor of Psychology, Pacific Graduate School of Psychology
Consulting Professor of Psychiatry, Stanford University School of Medicine
Professor Emeritus, University of California

日 時：2007年7月24日（火）10：30～12：00

会 場：関西学院大学上ヶ原キャンパス 図書館ホール

司 会：松見 淳子（関西学院大学文学部総合心理科学科教授）

通 訳：金原さと子（Pacific Graduate School of Psychology）

大刈香奈子（関西学院大学大学院文学研究科博士研究員）

Beutler教授は、長年にわたりエビデンスベースの臨床心理学の発展に多大な貢献をされました。米国心理学会（APA）の臨床心理学部会、APA-心理療法部会、そして国際心理療法協会の会長をそれぞれ歴任され、臨床心理学専門教育の制度化と専門職の社会的役割について、常に重要なメッセージを発信してこられました。Journal of Consulting and Clinical Psychology および Journal of Clinical Psychologyの元編集長です。そのほか多数の学術誌の編纂に著しい貢献をされています。

今回のご訪日は、日本ストレスマネジメント学会の招聘により実現しました。第6回学術大会（津田彰大会長）における基調講演のほか各地で精力的に講演をなさいます。Beutler教授は、個人の心理療法における変化について実証的に研究されていますが、個人を超えた大規模災害やテロによる被害者への対応についても臨床的研究を重ねられ、アメリカで支援プログラムを開発されています。

※参加費無料、事前申込み不要です

お問い合わせ：関西学院大学心理学研究室 662-8501西宮市上ヶ原一番町1-155

Tel: 0798-54-6209 <http://www.kwansei.ac.jp/human/psy/>

交通アクセス：阪急今津線「甲東園駅」下車徒歩約15分

または、甲東園駅前より阪急バスで約5分「関西学院前」下車

関西学院大学および会場へのアクセスは、大学ホームページ内のリンクをご参照下さい。

<http://www.kwansei.ac.jp/>